

1 地域「統計情報誌」の創刊！

・平成 18 年度のスタートに当たり、統計情報を県内の皆様に幅広く提供する「しずおか統計ナビ」を創刊しました。これは、既刊「しずおか経済統計新聞」の内容や提供方法を一新し再創刊するもので、静岡県HP「統計センターしずおか」で閲覧することができます。しずおか統計ナビ編集局（県生活・文化部内）では、“とれたて最新情報を皆様と共有する”を目標に最新情報を発信していきます。



2 今年の重点事業は？

1 年の計は元旦にあり これは新年の心構えを表わす格言ですが、静岡県統計 3 室（統計利用室・生活統計室・経済統計室）は 4 月 20 日（木）、「平成 18 年度統計主管課長会議」を開催しました。約 2 時間、県による新年度事業説明が行われる中、県内 42 市町の統計主管課長さんの熱心にメモをとる姿が目立ちました。さあ、新年度のスタートです！

また、同日の午前中、経済統計室による「統計調査結果の報告会」が開催され、約 50 名の参加者が県内の新しい市町の姿について最新資料で説明を受けました。県からは日頃の統計調査への協力・連携に対するお礼と感謝が伝えられ、参加者の皆さんもそれぞれの立場で今後に向け気持ちを新たにしましたようです。



(報告会の会場風景)

やっぱし事業所・企業統計かな？ 昨年までは経済統計だけでも 3 調査合同調査など大きな調査のオンパレードでした。国勢調査もありました。でも、今年は「平成 18 年事業所・企業統計調査」です。県予算約 2 億円、統計調査員約 3,500 人で県内すべての事業所（約 20 万 8 千事業所）を調べます。調査対象となる事業所をはじめ統計関係者の皆さん、協力して正確な統計を作っていきましょう！

3 国の統計制度が変わる？

・今年の 6 月頃、統計制度に関する今後の方向性が、政府の統計制度改革検討委員会により明らかにされる予定です。これは、今までの改正や変更と異なり、終戦直後、吉田茂総理が自ら先頭に立ち、作り上げた現在の統計制度を根本的に見直すものだと言われています。これからも新聞等の報道に注目してみてください。

・国による見直しは、①総務省統計局等の統計事務部門が行う実務的な検討、②内閣府が行う政府統計の構造改革に向けた検討（今年 6 月頃検討結果）、③統計調査の民間開放・市場化テストに向けた取組、④電子政府構築のために府省共通業務・システムを最適化する取組、以上の 4 つに整理できます。



(県観光協会HP・渋川つつじ)